

October 8, 2020

**【前日の為替概況】ドル円、反発 米大統領が個別の財政出動に前向きな考えを示す**

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反発。終値は105.98円と前営業日NY終値(105.63円)と比べて35銭程度のドル高水準だった。前日に米追加経済対策の協議中断を表明したトランプ米大統領が航空会社向けの雇用支援や中小企業向け支援など個別の財政出動には前向きな考えを示したことで、過度な警戒感が後退。現物のダウ平均が600ドル近く上昇すると、投資家のリスク志向が改善し円売り・ドル買いが出た。4時30分過ぎには一時106.08円付近まで値を上げた。ただ、欧州序盤に付けた日通し高値106.11円を上抜けることは出来なかった。米株高でリスク・オンのドル売りが出たほか、一目均衡表雲の上限106.18円がレジスタンスとして意識された面もあった。

なお、米連邦準備理事会(FRB)はこの日公表した米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(9月15日-16日分)で「追加の財政出動がずれ込めば、景気回復のペースも遅くなる」と議会の混乱に懸念を表明した。

ユーロドルは反発。終値は1.1763ドルと前営業日NY終値(1.1734ドル)と比べて0.0029ドル程度のユーロ高水準だった。時間外のダウ先物の上昇などを受けて、リスク・オンのドル売りが先行すると一時1.1782ドルと日通し高値を付けた。ただ、そのあとは米10年債利回りが一時0.7951%前後と6月10日以来約4カ月ぶりの高水準を付けたことなどが相場の重しとなり、伸び悩んだ。

ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁は「目標を達成するためには十分な刺激策を維持することが必要」との見解を示した一方、ワイトマン独連銀総裁は「ユーロの上昇について過度な解釈はしない」「追加財政支援策は差し当たり必要ない」「経済の回復は予想を上回る速さ」などと述べたが、相場の反応は限られた。

ユーロ円は反発。終値は124.66円と前営業日NY終値(123.95円)と比べて71銭程度のユーロ高水準。米経済対策の一部実施への期待などから投資家のリスク選好姿勢が強まり円売り・ユーロ買いが先行。21時前に一時124.88円と9月16日以来の高値を付けた。ただ、買い一巡後は124円台後半でのみ合いに終始した。

トルコリラは軟調だった。トルコ周辺の地政学リスクの高まりやロシア製地对空ミサイルを巡る米国との関係悪化、政府の新型コロナ危機対策への不信感などを材料にリラを売る動きが続いた。リラは対ドルで一時7.8898リラと史上最安値を更新したほか、対円で13.43円と9月28日以来の安値を付けた。

**【本日の東京為替見通し】米大統領に振り回される相場継続、副大統領討論会にも注目**

本日を含め米大統領選挙が終了し、どちらかの陣営が敗北を認めるまでは、ドル円はトランプ米大統領の動向次第に左右される相場展開は変わらないだろう。

昨日の日本時間早朝に、追加経済対策の協議中止を指示した米大統領だったが、日本時間午前には矢継ぎ早にツイッターで支援策を打ち出した。民主党の経済対策へ合意せずに、すべての経済対策を自分の手柄にする作戦を企てた。大統領案を拒否すると民主党が国民救済に消極的と非難され、合意した場合はトランプ氏の手柄という、いかにもトランプ氏らしい作戦だ。ただし、昨日トランプ氏が提案した案自体はもともと民主・共和両党がある程度合意していた案で、民主党が主張する地方自治体の財政支援や失業保険の減額への反対など共和党が受け入れていない法案について一切トランプ氏は提案していない。個別案件だけを下院で多数派を握っている民主党が早急に合意するとは考えにくく、今後の展開次第では再びリスクオフに傾く可能性もありそうだ。

本日注目されるのは日本時間の10時から開催される、ペンス米副大統領とハリス副大統領候補による討論会になる。大統領候補2人がともに高齢であり、一人はウイルスに感染していることで、副大統領候補の責任がこれまで以上に重要になり、全米でも大きな注目を集めている。討論会中にもかかわらず、トランプ氏がツイッターで茶々を入れてくることも予想される。

なお、最新の世論調査でバイデン民主党大統領候補への支持が57%に対してトランプ米大統領は41%と16ポイントも差が開いている(前回調査は51対43)。すでに大統領選挙まで25日しかないことで、米大統領は本日も含め様々な行動に出てくることが予想される。ただし、この行動が株式市場にプラスに働くのかマイナスに働くのかは内容によって異なるため、為替市場はその都度大きく振らされる可能性が高い。

ドル円以外の通貨も米国の政治状況で相場が上下することは変わらないが、欧州連合（EU）と英国の交渉が引き続き行われていることで、昨日同様にポンドが方向感なく動くことには警戒したい。また、ベイリー英中銀（BOE）総裁が東京時間夕刻にパネルディスカッションに参加することで、政策金利などの話に触れた場合には、ポンドの値動きが激しくなりそうだ。

経済指標ではここ最近では動意薄になりつつあるが、前週分の米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数の結果には引き続き目を配っておきたい。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

### <国内>

- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 08:50 ◎ 8月国際収支速報
  - ◇ 経常収支（予想：季節調整前1兆9837億円の黒字／季節調整済1兆5446億円の黒字）
  - ◎ 貿易収支（予想：4040億円の黒字）
- 10:00 頃 ◎ 黒田東彦日銀総裁、あいさつ（支店長会議）
- 14:00 ◇ 日銀地域経済報告（さくらレポート）
- 14:00 ◇ 9月景気ウォッチャー調査（予想：現状判断指数44.9／先行き判断指数44.0）

### <海外>

- 09:00 ◇ 10月NBZ企業信頼感
- 10:00～ ◎ 米共和、民主両党副大統領候補のテレビ討論会
- 14:45 ◇ 9月スイス失業率（季節調整前、予想：3.3%）
- 15:00 ◇ 8月独貿易収支（予想：160億ユーロの黒字）
- 15:00 ◇ 8月独経常収支（予想：162億ユーロの黒字）
- 16:25 ◎ ベイリー英中銀（BOE）総裁、シュナーベル欧州中央銀行（ECB）専務理事、パネルディスカッションに参加
- 17:00 ◎ デギンドス ECB 副総裁、講演
- 17:20 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 19:15 ◎ メルシュ ECB 専務理事、講演
- 20:00 ◎ 9月メキシコ消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.27%）
- 20:30 ☆ ECB 理事会議事要旨（9月10日分）
- 21:00 ◎ 8月ブラジル小売売上高指数（予想：前年同月比5.8%）
- 21:15 ◇ 9月カナダ住宅着工件数（予想：24.00万件）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：82.0万件／1140.0万人）
- 21:30 ◎ マックレム・カナダ銀行（BOC）総裁、講演
- 9日 01:10 ◎ ローゼングレン米ボストン連銀総裁、講演
- 9日 02:00 ◎ 米財務省、30年債入札
- 9日 03:00 ◎ ボスティック米アトランタ連銀総裁、講演
- 中国（国慶節・中秋節）、休場

9日

### <国内>

- 08:30 ◇ 8月家計調査（消費支出）
- 08:30 ◇ 8月毎月勤労統計（現金給与総額）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

7日 05:49 米共和党のマコネル上院院内総務  
「トランプ大統領の経済対策協議停止の決定を支持する」

7日 08:01 アレハンドロ・ディアス・デレオン・メキシコ中銀総裁  
「食料価格によりほとんどのインフレが上向き」  
「メキシコのインフレ上昇は一時的」  
「金融政策はデータ依存に移行している」  
「インフレが急速に下がるなら、金融政策の余地が広がるだろう」  
「刺激策が足りないため、経済回復は不釣り合いとなる見込み」

7日 08:12 黒田日銀総裁  
「世界経済の全面的な回復はまだまだ先ようだ」  
「感染症のようなショックへの対応は各国の協力が欠かせない」  
「アジア経済の落ち込みはその他各国と比べれば緩やか」

7日 08:21 ペロシ米下院議長  
「我々は交渉が成立する過程にあった」  
「トランプ米大統領は選挙には勝てないだろう」

8日 00:27  
「トランプ大統領は追加対策協議を停止するというとんでもない間違いをした」  
「大規模対策を可決するチャンスを逃した」

7日 08:30 バイデン米民主党大統領候補  
「トランプ米大統領がまだ新型コロナウイルスで回復していないなら、15日の討論会はすべきではない」

7日 10:59 トランプ米大統領  
「米上下院は航空会社の給与サポートのための250億ドル、中小企業のための1350億ドルの支援策をすぐに承認すべき。私はすぐにでも署名する」  
「我々の偉大な国民へすぐに、ほかに非を見ない1200億ドルの小切手を送るならば、私はすぐにでもサインをする。ナンシー(ペロシ下院議長)聞いているか？」

7日 21:11 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁  
「目標を達成するためには十分な刺激策を維持することが必要」  
「危機後のユーロ圏ではさらに分断が進むリスクがある」

7日 22:11 ワイトマン独連銀総裁  
「ユーロの上昇について過度な解釈はしない」  
「追加財政支援策は差し当たり必要ない」  
「経済の回復は予想を上回る速さ」

7日 22:26 フロスト英・欧州連合(EU)担当交渉官  
「欧州連合(EU)との合意に向けて真摯に取り組んでいる」  
「15日に交渉は終了し、首相に条件が満たされているか知らせる必要がある」  
「着地点は明らかだが固定されているわけではない」  
「EUが望むような詳細の水準で合意することは難しい」  
「漁業権という一番の難しい問題が残っている」  
「移行期間が終了すればEU体制から出ていく」

7日 22:29 ゴープ英内閣府担当相  
「欧州連合(EU)はこのところ建設的」  
「国内市場法案はセーフティーネット」

7日 23:20 スタージョン・スコットランド国民党党首(スコットランド行政府首相)  
※新型コロナウイルス感染拡大を受けて  
「新たな制限措置を設けなければならないが、都市封鎖は実施しない」  
「必要がない限り、公共の交通機関は避けるべき」

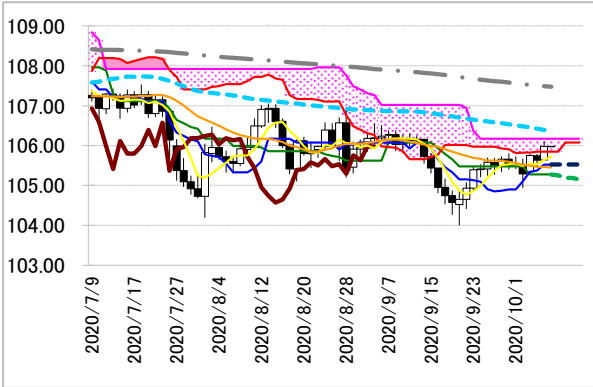
8日 00:11 ミシェル欧州理事会常任議長(EU大統領)  
「EUは英との合意を望むが、何がなんでもというわけではない」

8日 03:00 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨  
「スタッフ予測は追加財政支援を想定」  
「フォワードガイダンスは無条件のコミットメントではない」  
「何人からの当局者は将来の債券購入の評価が適切と判断」  
「当局者の多くは、追加財政支援が予想よりも大幅に小さいか、または大幅に遅れた場合、回復ペースが予想よりも遅くなる可能性と指摘」  
「米実質 GDP は第3四半期に急速に回復」  
「労働市場は7月と8月に著しく改善したが雇用は年初の水準をまだ下回っている」  
「経済見通しは明るくなったが、当局者は引き続き著しいリスクがあると指摘」

8日 04:11 ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁  
「景気は回復しているが我々が望んだところには届いていない」  
「先行き見通しは不透明」  
「FRBの新たな枠組みは政策行動を経済的な成果に結びつける」  
「FRBのフォワードガイダンスは変化が起きた時に対応することができる」

※時間は日本時間

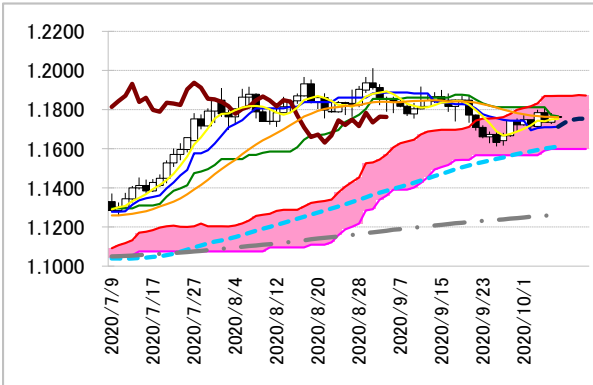
## 〔日足一目均衡表分析〕



### <ドル円＝雲上限を攻略するめどつきつつある>

上影陽線引け。目先の抵抗だった一目均衡表・雲の下限105.85円が来週から水準を切り上げるのに先がけ、106円台へ乗せる動きとなった。上値は106.11円と一目・雲の上限106.18円の手前にとどまったが、雲下限の上昇とともに上限も攻略するめどがつきつつある。伸び悩んだまま、下限の切り上がり部分を日柄経過とともに割り込むリスクはあるが、下押ししても一目・転換線が支えとなろう。

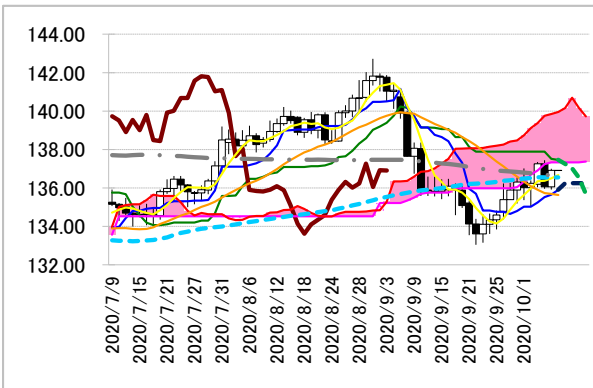
レジスタンス 2	106.95(8/28 高値)
レジスタンス 1	106.38(9/8 高値)
前日終値	105.98
サポート 1	105.53(日足一目均衡表・転換線)



### <ユーロドル＝転換線へ追随したレンジ上放れ想定>

陽線引け。一目均衡表・基準線と転換線に挟まれたレンジで目先のすう勢を示す5日移動平均線は横ばいのまま。この状況が示唆する基準線・転換線レンジの推移が続いた。さらに基準線と転換線の交差が想定される1.1760ドル台に相場が収れんしてきた。本日から1.1765ドルでの横ばいが予想される基準線を、転換線が上抜く見込み。転換線に追随したレンジ上放れが想定できる。

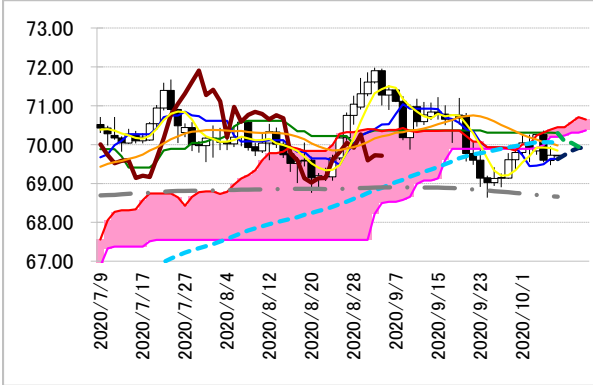
レジスタンス 1	1.1808(10/6 高値)
前日終値	1.1763
サポート 1	1.1712(日足一目均衡表・転換線)



### <ポンド円＝雲下限こなしきれず136円台に相場収れん>

陽線引け。137円台で上昇傾向の一目均衡表・雲の下限付近で6日に137.45円まで上値を広げた。しかし、低下へ向かう一目・基準線を前に動きは重く、雲の抵抗をこなしきれなかった。136円割れまで下落したものの、基準線と一目・転換線の交差が予想される136円台へ戻した。上昇中の90日移動平均線と低下中の200日線も136円台で収れんしつつあり、いったん動きをこう着させ、レンジ放れの方向をうかがう局面にあることを示唆している。

レジスタンス 1	137.46(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	136.92
サポート 1	135.91(日足一目均衡表・転換線)



### <NZドル円＝転換線を下放れた場合の下落加速に注意>

上影小陽線引け。一目均衡表・雲の抵抗を試す局面から、低下傾向の一目・基準線を重しに2日安値69.55円や一目・転換線69.63円を一時割り込む展開へ転じた。下げ渋りを見込むが、下値に下落幅の拡大を抑えそうな主だった日足テクニカル指標が目立たない点が気掛かり。200日移動平均線が68.66円前後に位置するがまだ低下中。転換線を下放れた始めたら、下落が加速するリスクがあると考える。

レジスタンス 1	70.30(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	69.73
サポート 1	69.24(ピボット・サポート2)

